

総論

満点	150点	目標得点	115点	試験時間	80分	偏差値	B:74
大問数	4	小問数	68				
【解答形式】		選択式	57/68問	記述式	6/68問	論述式	5/68問
【問題難易度】		C	14/68問	B	22/68問	A	32/68問
※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：大問4題、設問も昨年並み、論述問題は字数制限がなくなり、4題から5題へ1問増加した。
- 2：論述問題・地図問題・史料問題・グラフの読み取り問題・年代整序問題・正誤判定問題と例年どおり問題形式も多様で、実力ある学生を選抜しようとする学部の意図がよくわかる。まぐれでは合格できない。
- 3：手も足も出ないような極端な難問が大きく減った。山川用語集で頻度②以下が減り、頻度③以上が大半を占めたが、しかし単純な知識ではなく、分析や思考力を問う問題が増えている。

こんな力が求められる！

出題のほとんどが近現代史、ヨーロッパでは大航海時代以降、中国ではアヘン戦争以降、第二次世界大戦後まで、範囲が限られるだけに詳細かつ確実な知識が必要とされる。特に年代整序問題は経済学部の特徴であるが、対応するためには戦後史まで問題集を解くなどの十分な用意をして受験に望んで欲しい。

問題数も増えたように、論理的文章を書く能力が求められているが、特に現代アメリカ金融史については頻度が高いので、十分な準備をして受験に望むべき。ただ傾向が過去問と類似しているので、できれば10年、最低でも5年程度の過去問の論述問題は研究しておきたい。過去問を研究した者が有利なのは他大学、他学部にも言えることだが、特に経済学部はその傾向が顕著であり、これはグラフの読み取り問題にもいえることであるから実践してもらいたいものである。

受験生であっても世界情勢、特に経済問題に関心を持つことが条件となる。9月までに起こった出来事が受験ではテーマとなることが多い。【Ⅲ】のリンカンの奴隷解放宣言関係の出題は、オバマの大統領選出が背景と思われるし、【Ⅳ】中華人民共和国の成立も2009年が建国60年であるから、という出題。なお、昨年ロシアのグルジア侵攻、チベット問題が出題されている。

教科書に準じた問題が増えたとはいえ、教科書的知識だけでは対応できない、各種『世界史資料集』『現代用語の基礎知識』『そうだったのか現代史』（集英社）ぐらいは副教材として普段から読み込むことが必要である。

### 【I】

予想点	45/150点	時間配分の目安	20/80分
出題分野・テーマ	近代ヨーロッパの成立（史料問題）		
出題形式	選択式、記述式		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 問1 (1)abcd：全てA (2)abcd：全てA 問2 (1)B (2)C 問3 (1)ab：ともにA cd：ともにB (2)B (3)A (4)C (5)A 問4 B 問5 A 問6 B 問7 B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	・6月期1,2回 ・7月期1回 ・夏期講習「文化史」 ・直前特訓「直前・早慶世界史」		

#### ●本大問の特徴・概要

ルネサンス・宗教改革・近代政治思想・啓蒙思想・市民革命を写真・史料から出題するセンター試験によく似た形式である。短答選択式が17問、正誤判定が2問、年代整序が2問、記述式が1問である。写真はセンター試験レベル、どの教科書にも掲載されているレベルであるが、問3(1)の史料は『リヴァイアサン』『人間不平等起源論』『法の精神』『諸国民の富（国富論）』という常識的なものであるだけに読み取れないと合否に影響する。

#### ●注目すべき小問

[C難問]

問3

(4) 難問。できなくてもよい。しかし、消去法で、また地理的教養があれば…。

問2

(2) 万人祭司説はできなくてよい。

[B合否を分ける問題]

問3

(1) 史料問題は経済学部の必須問題だが、決して難問ではない。『リヴァイアサン』『人間不平等起源論』『法の精神』『諸国民の富（国富論）』のうち、間違っても1問にとどめなければならない。

問2

(1) ルターの三大宗教改革文書（『キリスト者の自由』『ドイツ国民のキリスト教貴族に』『教会のバビロン捕囚』）で、年代まで覚えておかなければならないのは『キリスト者の自由』1520年だけ。『九十五カ条の論題』が1517年、2つの年代から類推する問題。

問4

お茶ゼミではマックス=ヴェーバーについては『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』まで何度も授業・文化史で紹介されているのだが…。

[A正答すべき問題]

問1

基本問題。できないと即不合格。

問6

これぐらいの年代整序はできて欲しい。

## 【Ⅱ】

予想配点	35/150点	時間配分の目安	15/80分
出題分野・テーマ	中国近現代史		
出題形式	選択式、記述式、論述式		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 問8 (1) B (2) abcd：地名・地図とも計8問全て A (3) abcd：全て A 問9 (1) A (2) B 問10 (1) A (2) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期講習「近代史」「現代史」 ・12月期2,3回(中国史)</li> <li>・直前特訓「世界史論述徹底演習」「直前・早慶世界史」</li> </ul>		

### ●本大問の特徴・概要

アヘン戦争から第2次国共合作までを地図・史料を用いた出題。年代整序・地図・正誤判定を含む選択問題が12問、地名を問う記述式が4問、字数制限のない論述が1問。手も足も出ない難問はない。地図は完答が望まれる基本問題、正誤判定も基本問題、年代整序も基本問題、論述問題は、満点は無理でもかなり部分点が取れる問題。

### ●注目すべき小問

[B合否を分ける問題]

問8

- (1) 虎門寨追加条約が1843年に南京条約に追加されたことがわかれば問題ないはずであるが、結構勘違いする受験生もいるのだろう。

問9

- (2) フィリピン史でホセ=リサル、カティプーナ党、ボニファシオ、アギナルドは必須用語だが、ホセ=リサルとアギナルドの順序までとなると混乱する受験生もいるだろうが、できて欲しい問題。ちなみにホセ=マルティはキューバ独立の指導者。

問10

- (2) 2009年度に出題された問21「蒋介石の安内攘外政策」と類似問題。論述問題の過去問は他大学の類似過去問を練習する以上に経済学部の過去問を絶対練習しておくこと。キーワードは抗日民族統一戦線・張学良・蒋介石・西安事件・盧溝橋事件(日中戦争勃発)。

[A正答すべき問題]

問8

- (2) 中国史のこれぐらいの地名・地図はできなければ合格は難しい。bをマカオと勘違いすれば命取りとなる。
- (3) 基本問題。完答が必要。

問9

- (1) 藩部は理藩院による間接統治。

問10

- (1) 沿海州は1858年のアイグン条約で清・ロシアの共同統治、ロシア領となったのは1860年の北京条約、1881年のイリ条約は東トルキスタンのヤクブ=ベクを中心としたイスラーム教徒の反乱が原因で、新疆地方の国境をロシアが有利に確定することとなったもの。

## 【Ⅲ】

予想配点 40/150 点	時間配分の目安 20/80 分
出題分野・テーマ アメリカ合衆国における市民的不服従	
出題形式 選択式、記述式、論述式	
小問別難易度 ※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す 問 11 B 問 12 (1) B (2) B ※解答数は 2 問 13 (1) A (2) B 問 14 (1) A (2) A 問 15 (1) B (2) A 問 16 (1) A (2) abcde : 全て C (3) C	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 ・ 冬期講習「アメリカ史」 ・ 直前特訓「世界史論述徹底演習」「直前・早慶世界史」	

### ●本大問の特徴・概要

正誤判定・同時代史・年代整序の選択問題が 13 問、記述式が 1 問、字数制限のない論述問題が 3 問。大問 4 題の中で最も差が出そうな問題。3 題の論述問題は、問 16 (3) は難問であるが、問 12 (1)・問 15 (1) は、完答は無理でも、確実に部分点を稼ぐこと。正誤判定・年代整序・同時代史問題も決して難問ではないだけに、確実に得点することが合格への道。

### ●注目すべき小問

[C 難問]

問 16

- (2) 戦後史の出来事が、ここまで正確な年代を求められる出題は、受験生には厳しい。a～e の中でいくつ正解できるかだが、2 つ以上は正解したい。
- (3) キーワードはベトナム戦争・反戦運動・人種差別・女性解放・カウンターカルチャー。文化という設問なのでカウンターカルチャー、もしくは具体的なフォークソング・ロックなどを入れると得点に加算されるのだろうが、難問。

[B 合否を分ける問題]

問 11

ワシントンが奴隷制度批判の先駆者であったかわからなくても、消去法で解答を導く問題。ワシントンはヴァージニア出身、フィラデルフィア憲法制定会議議長、初代大統領、連邦派である。

問 12

- (1) 二重下線が最大のヒント。キーワードは 1765 年・印紙法・代表なくして課税なし。
- (2) 18 世紀中葉がどういう時代なのか。1789 年に始まるフランス革命の前夜であることからフランス革命に最も影響を与えた啓蒙思想家はルソー、ルイ 16 世のもとで財務長官を務めたテュルゴがケネーの弟子の重農主義者であることから解答に導けるはず。合否を分ける問題となる。

問 15

- (1) キーワードは 1929 年・国民会議派ラホール大会・プールナ=スワラージ・塩の専売、塩の行進。

[A 正答すべき問題]

問 13

- (1) これぐらいの年代は慶應受験生は得点できないと。

問 16

- (1) 国語力でもなんとかなる。常識。

## 【IV】

予想配点	30/150 点	時間配分の目安	15/80 分
出題分野・テーマ	第二次世界大戦後の世界		
出題形式	選択式、記述式、論述式		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 問 17 abcde：全てB 問 18 B 問 19 (1)abcde：全てC (2)C		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月期 2～4回</li> <li>・ 冬期講習「アメリカ史」</li> <li>・ 直前特訓「世界史論述徹底演習」「直前・早慶世界史」</li> </ul>		

### ●本大問の特徴・概要

典型的な慶應-経済学部の問題。戦後の冷戦時代、アメリカ経済に関する問題で、形式は違うが年代順序が3問、論述問題が1問。細かな年代を問う出題に中華人民共和国成立はやはり、建国60年がらみと考えられる。問19のグラフ問題は昨年も同様の出題があった、論述だけでなく、グラフの過去問も練習の必要がある。

### ●注目すべき小問

[C難問]

問 19

- (1) 前提として a～e それぞれの年代は把握しておかなければならない。グラフの3の時期が軍事費の急激な増大でレーガン政権時代(任 1981～89)の「強いアメリカ」政策であることに気づかなければ話にならない、すべてはそこから始まる問題。経済学部受験生には常識的知識であるはず。
- (2) 難問ではあるが、経済学部受験生は部分点がある程度取らなくては合格は難しい。キーワードは高金利ドル高政策・双子の赤字(貿易赤字・財政赤字)・プラザ合意による協調介入。

[B合否を分ける問題]

問 17

c・dは得点できなければならないが、その他は難問。戦後史では同じ年代でどちらが前後かを問われることもあるが、ここまでの出題は正直厳しすぎる。ヨーロッパ経済協力機構(1948.4)・ベルリン封鎖(1948.6)、北大西洋条約機構(1949.4)・ソ連原爆実験(1949.8)・中華人民共和国成立(1949.10)つまり年代だけでなく何月まで覚えなければならないことになる。

問 18

決して易しくはない年代問題。しかし、これくらいは正解しないと、経済学部の合格は難しい。